

第38回●シンポジウム・パークスターン2024

「パキスタンの牛・ミルクの魅力と可能性」

- ◇とき 2024年11月9日(土) 10:30～17:45
- ◇ところ 日本大学文理学部3号館2階3206教室
- ◇会費 会員2,000円、一般3,000円、学生無料、懇親会費3,000円
- ◇定員 70名(要申込み・先着順)

■講演1 (3号館2階3206教室 10:30～12:00)

主催者挨拶 今泉 濬 (公財)日本・パキスタン協会会長
来賓ご講演 H.E. Mr. Raza Bashir Tarar 駐日パキスタン大使(予定)

■講演2 (3号館2階3206教室 13:00～17:45)

●「パキスタンの牛・ミルクの魅力と可能性」

●森永乳業のパキスタンにおける事業の取組みと展望 / 上山 洋史
(森永乳業株式会社 海外事業本部 担当部長)

森永乳業は1978年にパキスタンへ育児用ミルクの輸出を開始、以来45年に渡りビジネスを展開。2019年には現地工場での製造を開始、国内用・輸出用の両輪を回しています。その概要と今後の展望を紹介します。

●パキスタンの酪農後進地域が直面している課題とJICAの協力 / 桐野 有美
(JICA 国際協力専門員<畜産・家畜衛生分野>)

JICAが現在、技術協力を実施しているパキスタン北部のハザラ地域で、飼養管理技術を学んで生産性を向上させている小規模酪農家の様子と、増産の先にある品質向上の課題についてお伝えします。

●インダス文明におけるウシ / 小磯 学
(関西国際大学 国際コミュニケーション学部 教授)

インダス文明の遺跡から出土する多量のウシの骨は、食資源としての「肉と乳製品」、そして陸上の交通革命をもたらした牛車がこの文明を支えていたことを物語ります。それは、今日の南アジア(西北部に代表される)型文化圏形成の端緒ともなりました。

●強健で骨太な身体を生み出す秘密は良質の牛がもたらす
ミルクのパワー / シャー 真理子

(スパイス料理研究家、食のエッセイスト、カラチ在住30年)
パキスタンは恵まれた農産国であるばかりでなく、優れた酪農国でもある。つぶらな瞳が印象的なRed Sindhiや、水中で過ごすのが好きな水牛などが大量のミルクを産出し、バターやヨーグルトなどの乳製品も国民の強健な体質を生み出す要因となっている。栄養価の高い料理やデザートなどを紹介しながら、健康で力強い身体が生まれる原点を紹介していきます。

●パネル・ディスカッション / 司会 丸山 純

■懇親会 (3号館1階 食堂コスモス 18:00～20:00)

立食にてご歓談をお楽しみください。

◇お申込み方法

裏面のお申込みの内容を、電話、Fax、メールまたは郵送にてご連絡下さい。

公益財団法人 日本・パキスタン協会

Tel:03-5327-3588 Fax:03-5327-3598

e-mail: kyokai@japan-pakistan.org

住所: 〒166-0002

東京都杉並区高円寺北 2-29-14-202

当日は混雑が予想されます。事前のお振り込みにご協力をお願い申し上げます。

◇お振り込み先

下記へお振り込みください。

- ・三菱UFJ銀行 青山通支店 <普> No.0038524
- ・みずほ銀行 渋谷中央支店 <普> No.1731897
- ・三井住友銀行 青山支店 <普> No.5218954
- ・郵便振替口座 00100-7-20299

<アクセス>



日本大学文理学部

住所: 東京都世田谷区桜上水 3-25-40

電話: 03-5317-9677 (庶務課)

最寄り駅: 京王線「下高井戸」駅、「桜上水」駅

昼食は3号館1階の学食・コンビニエンスストアが14時までご利用いただけます。

